

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	BL-1001 (平ゴム)
会社名	人間川ゴム株式会社
住所	東京都中央区新川 1-25-2 新川STビル5階
担当部門	営業本部
電話番号	03-3552-8851
FAX番号	03-3552-8702
整理番号	NR-0022

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	単一製品
一般名	加硫ゴム

成分及び含有量

労働安全衛生法通知対象物

カーボンブラック(政令番号131)	8.0 wt%
亜鉛亜(政令番号189)	1.0 wt%
鉱油(政令番号169)	8.8 wt%
テトラメチレンチウラムジスルファイト(政令番号371)	0.14wt%

化学物質管理促進法・第一種指定化学物質・第二種指定化学物質

テトラメチレンチウラムジスルファイト(政令番号204)	0.14wt%
N-シクロヘキシル-2-ペンゾチアゾールスルフェンアミド(政令番号115)	0.42wt%

上記化学物質を添加し加硫ゴムとしています。

3. 危険有害性の要約

分類の名称(分類基準は日本方式)	分類基準に該当しない。
物理的及び化学的危険性	消防法の指定可燃物である。 研磨粉等が堆積すると、発火の危険がある。 燃焼した場合、有毒ガスが発生する可能性がある。

4. 応急措置

情報

吸入した場合	シート状固体につき該当しない。
皮膚に付着した場合	人体への特別な影響はありませんが、必要に応じて触れた箇所を石鹸を使ってよく洗浄して下さい。
目に入った場合	清浄な水にて数分間、充分洗浄し、目に傷がついたときや刺激があったとき等、必要に応じて医師の手当を受けて下さい。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄し、必要に応じて医師の手当を受けて下さい。

5. 火災時の措置

消火剤	水、泡、不活性ガス、粉末消火剤、乾燥砂等。
特定の危険有害性	燃焼した場合は有毒ガスが発生する可能性があります。
特定の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置をする。
消火を行う者の保護	呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

除去方法	粉塵が発生した場合には、冷却し、掃き集め回収する。 製品が重い場合には、落下、転倒に充分注意し安全な場所に移動する。
人体に対する注意事項	人体への特別な影響はありませんが、必要に応じて触れが箇所を石鹼を使ってよく洗浄して下さい。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- 1) 移動する際に、静電気が発生することがありますので、可燃性溶剤を使用する場合には、アースを取るなど適切な対応が必要です。
- 2) 研磨粉や切削粉等が堆積すると自然発火することがあります、堆積した場合は除去してください。
- 3) 研磨等を行うと、高温となり発生するガスが眼、鼻、呼吸器、皮膚を刺激する恐れがあります。加工時の異常な温度上昇を避けるとともに、必要に応じて局所排気装置等を使用するなど排気及び換気に配慮して下さい。又状況に応じ保護具を着用して下さい。
- 4) 取扱い後は、石鹼を用いて、手洗い、洗顔を行う。

保管

技術的対策	火気注意
混触禁止物質	特になし。
適切な保管条件	直射日光、水濡れ、高温、屋外保管を避け、冷暗所に保管して下さい。折り曲げたり、変形させないで下さい。

安全な容器包装材料 透明な包装材料を避け、空気及び日光に接触、晒さない様にして下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 粉塵、ガスを発生させるような作業は、局所排気装置等を使用し、充分な換気を行っ

て下さい。

取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設けることが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具

防じんマスク、ガスマスク

手の保護

保護手袋

目の保護

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

保護服（長袖作業衣）、保護長靴、安全靴、等

衛生対策

人体への特別な影響はありませんが、必要に応じて触れた箇所を石鹸を使ってよく洗浄して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

シート状固体

色

黒色

臭い

微臭あり

密度(比重)

非開示

溶媒に対する溶解性

水に不溶

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

加硫ゴムのため物理的状态が変化する特定の温度はない。

10. 安定性及び反応性

安定性

一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。

危険は反応

自己反応なし。

危険有害な分解生成物

燃焼した場合は有毒ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

データなし。

12. 環境影響情報

データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の廃プラスチック類に該当します。

14. 輸送上の注意

国連分類・番号

国連勧告の定義上、危険物に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に包装の破損、濡れ等のないことを確かめる。

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。直射日光を避ける。

15. 適用法令

消防法：火災予防条例準則、指定可燃物（合成樹脂類）

16. その他の情報

- 1) 本記載内容は、当社で入手した資料、情報、データに基づいて作成しておりますので、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。
- 2) 注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いに際してはその用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- 3) 加硫：JIS K 6200:1998 ゴム用語 による定義は下記の通りです。化学構造を変化させる（例えば、架橋）ことによって、ゴム弾性を付与、回復若しくは改良をしたり、又は広い温度領域にわたって、弾性を付与された状態に変化させる工程。場合によっては、硬質化するまでの工程をいう。